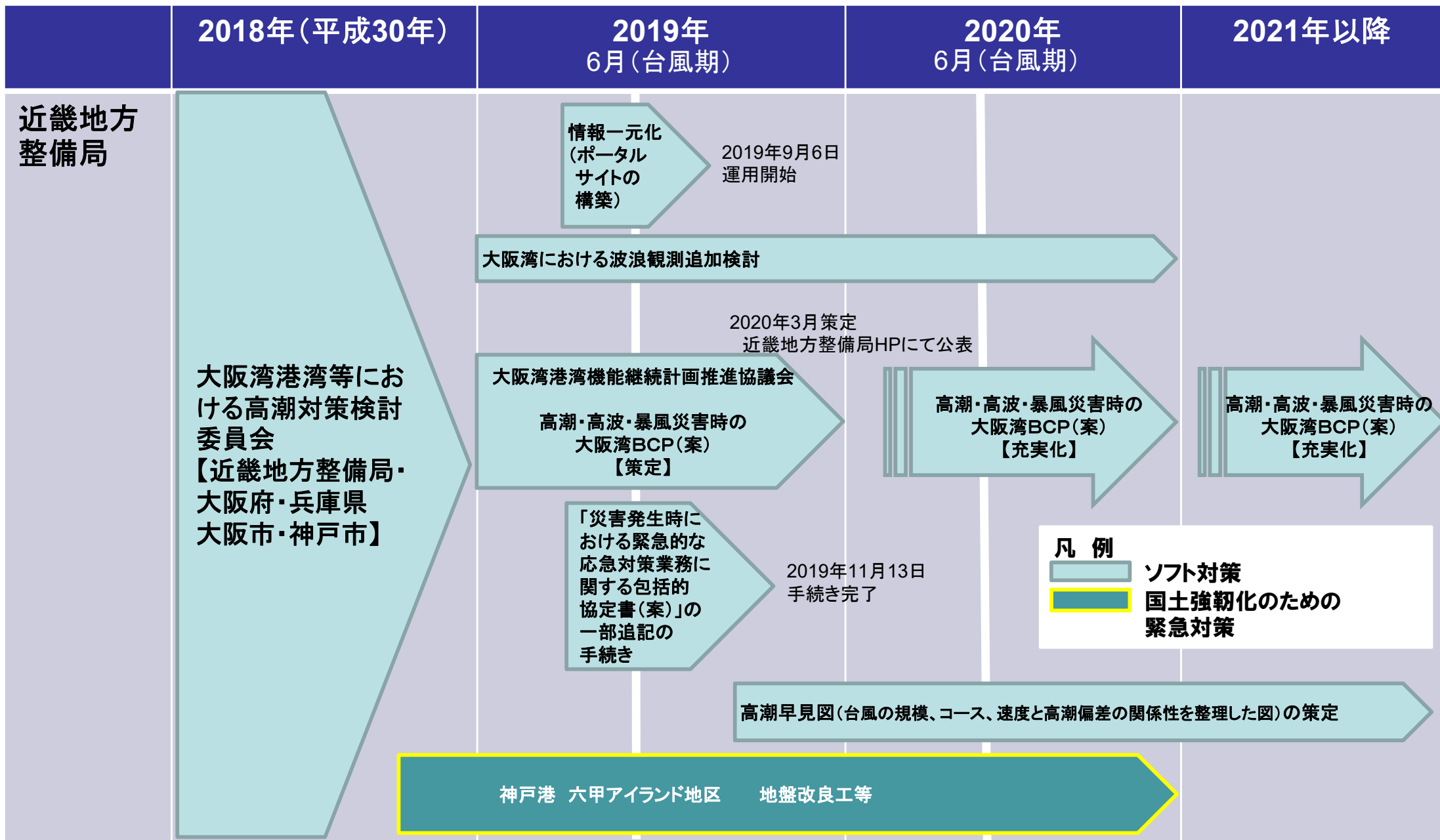
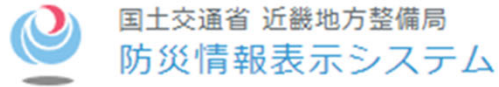


高潮対策の進捗状況



○令和元年9月6日、潮位、風向・風速、波浪の情報を一元的に集約したポータルサイト「防災情報表示システム」の運用を開始。(大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会 最終とりまとめに基づく対応)



■地点選択

潮位

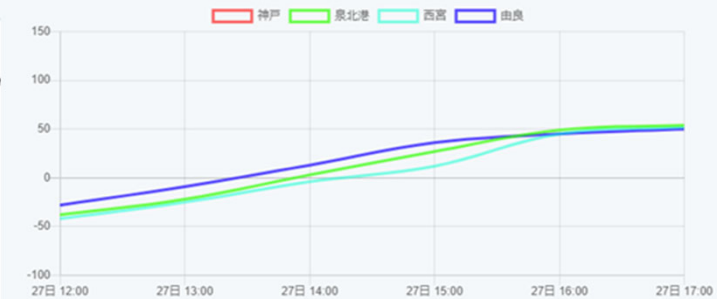
風向・風速

波浪



基準日 2019/08/27 12時 期間 6時間 グラフ 重ねる 件数 10件 更新

【潮位】 計測期間: 2019/08/27 12:00~2019/08/27 18:00



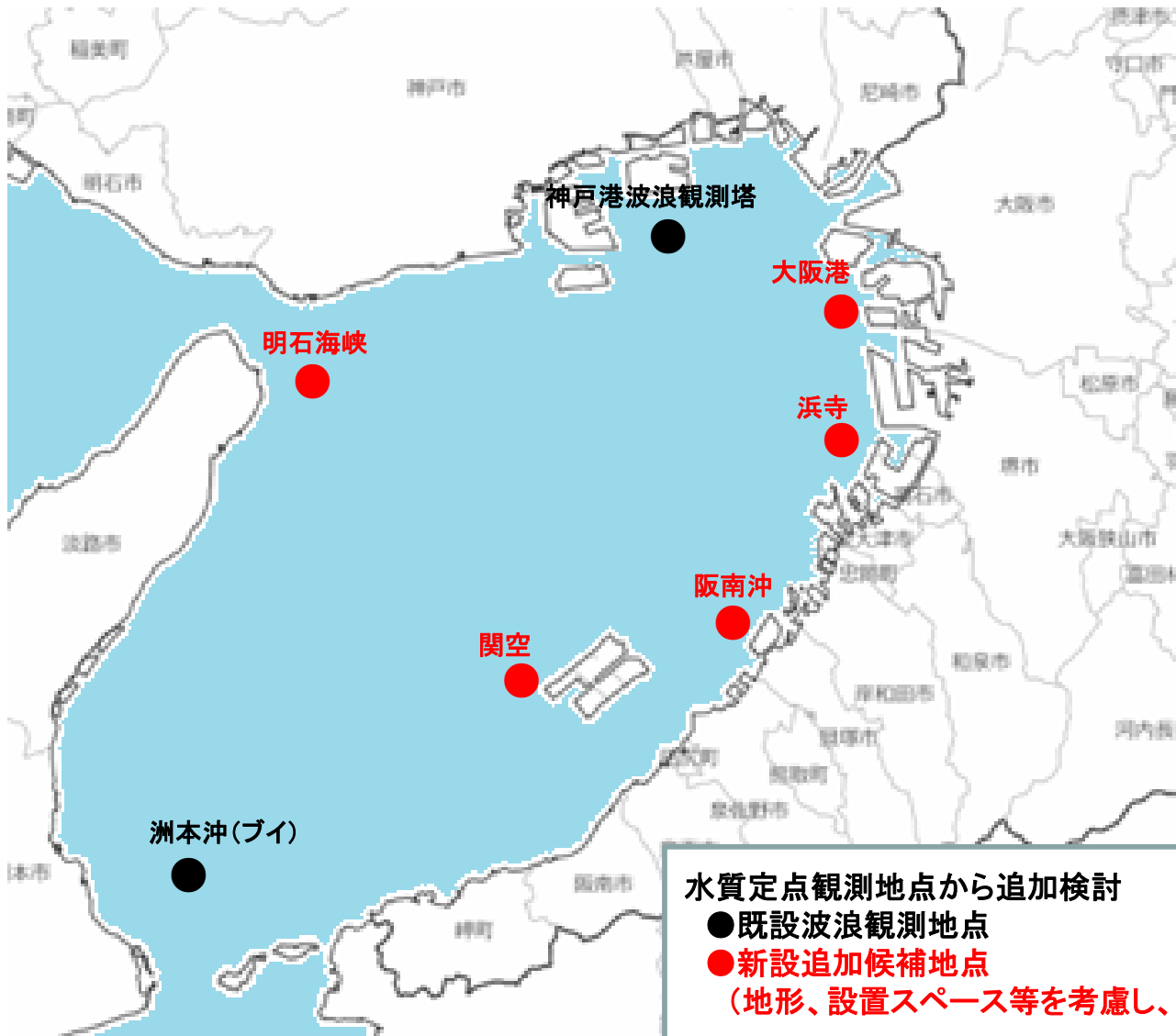
神戸	
計測時刻	潮位
2019/08/27 17:00	
2019/08/27 16:00	
2019/08/27 15:00	
2019/08/27 14:00	
2019/08/27 13:00	
2019/08/27 12:00	

出典: 気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/sokuho/genbo.php?stn=KB&LV=TP&G_HOUR)

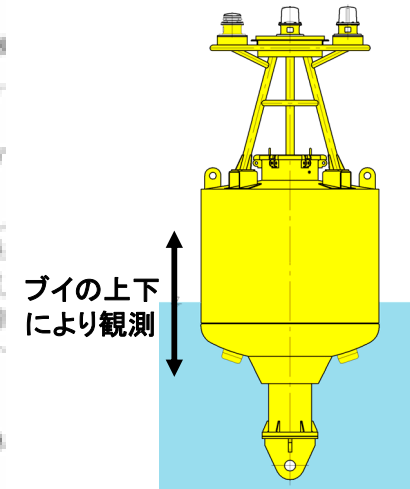
詳細を表示

◆ 現在、大阪湾の波浪観測は神戸港六甲アイランド沖、洲本沖の2地点観測となっており、大阪湾内での追加観測を検討中。

追加候補地点 (※ ●候補地点のうち「阪南沖」以外は施設所有者(管理者)が整備局ではないため取付可否を含めて調整要)



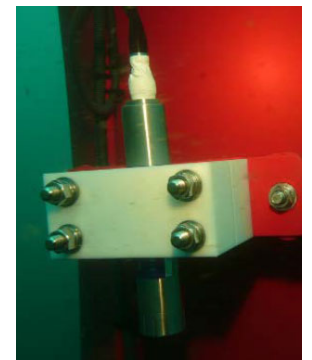
※明石海峡は「ブイ式」、その他は水圧式波高計の設置を想定



ブイ式波高計 (イメージ例)



水圧式波高計



設置状況例

水質定点観測地点から追加検討
●既設波浪観測地点
●新設追加候補地点
(地形、設置スペース等を考慮し、1~2点に絞り込み検討中)

平成30年度に作成した素案を基に実態に即した内容に精査・検討を実施、高潮・高波・暴風災害時の大阪湾BCP(案)を策定(令和2年3月)

○高潮・高波・暴風災害時の大阪湾BCP(案)のポイント

- ・今後も発生しうる高潮・高波・暴風災害に対して大阪湾内における人的・物理的被害を最小限にとどめるとともに港湾物流機能を維持するための指針として、各港湾関係者の合意のもと、共通の目標に向かって共有すべき基本的な事項を定めたもの

- ・事前対処行動としてとるべき行動を「フェーズ別高潮・暴風対応計画」として具体的内容を取りまとめ

近畿地方整備局HP: <http://www.pa.kkr.mlit.go.jp/pdf/bcp/oosakawanbcp-takashiotakanamibouhu.pdf>

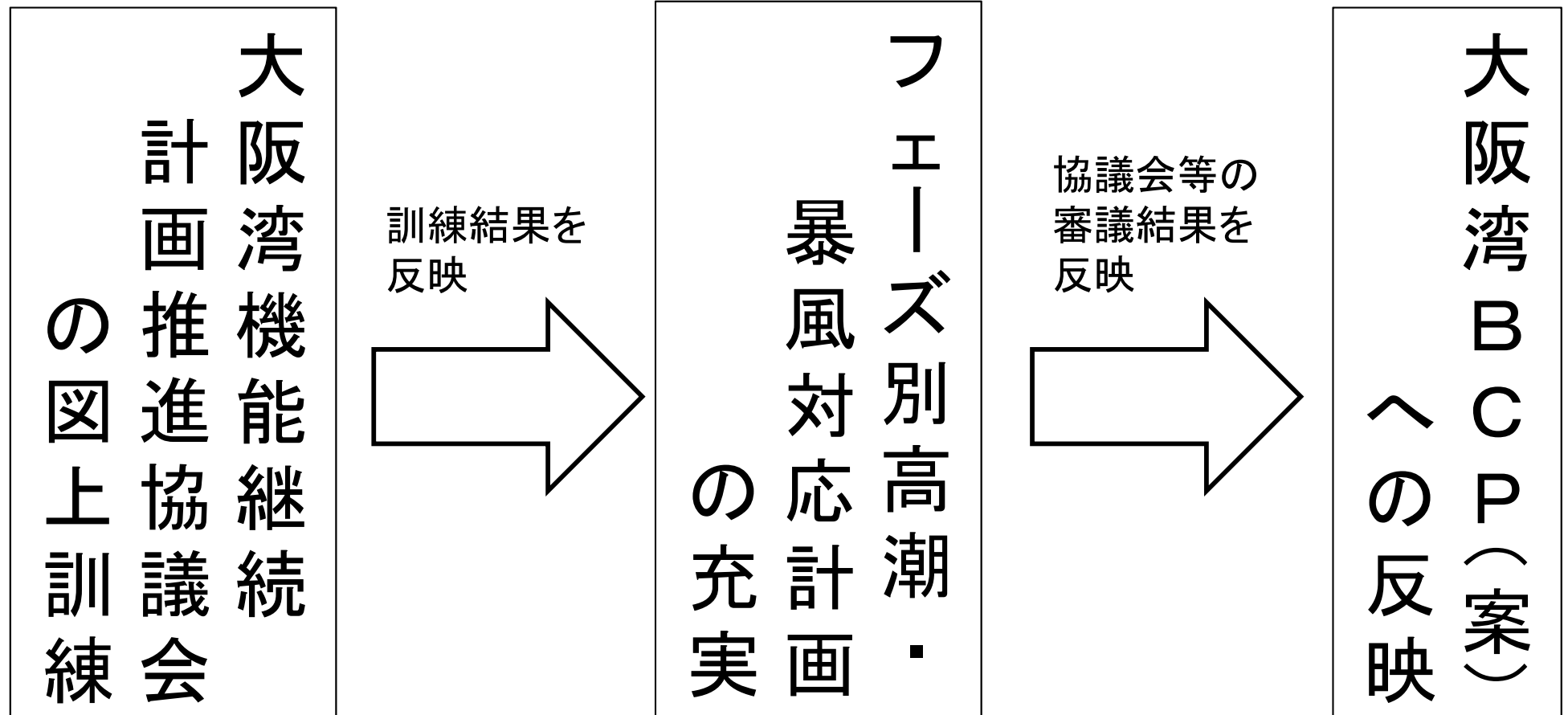
高潮・高波・暴風災害時の大阪湾BCP(案) 令和元年度 策定経緯

2019年7月～10月 (台風襲来時期)	2019年11月～12月	2020年1～3月
<p>準備した高潮・暴風災害時の大阪湾港BCP(素案)について、近畿地方に上陸する台風の内、必要と判断する時に大阪湾港湾機能継続計画推進協議会構成員で対応を実施し、課題等を抽出。台風接近に伴う大きな被害が無かったため、訓練により整理。</p>	<p>高潮・暴風災害時の大阪湾BCP(素案)について、大阪湾機能継続計画推進協議会のワーキンググループ、図上訓練等にフィードバックし、フェーズ別高潮・暴風対応計画の充実に向けた検討を実施。</p>	<p>大阪湾港湾機能継続計画推進協議会開催(2月) 審議内容を基に高潮・高波・暴風災害時の大阪湾BCP(案)を策定</p> <p>上記BCP(案)の実効性を高めるため大阪湾港湾広域防災協議会において港湾相互間の連携・協力体制等について協議(3月書面審議)</p>

大阪湾機能継続計画推進協議会の図上訓練を令和元年度に実施。
訓練結果を基にフェーズ別高潮・暴風対応計画の充実に向けた検討を実施した。

<訓練内容(予定)>

大阪湾機能継続計画推進協議会における関係者での情報伝達訓練



大阪湾におけるフェーズ別高潮・暴風対応計画(国の対応例)

実施済



大阪湾における「フェーズ別高潮・暴風対応計画」(台風における国の対応例)
【段階的な防災行動計画】

フェーズ	行動開始のトリガー (気象台等の情報)	時間の目安	情報収集	体制	防災行動等	港湾管理者等へ対応
フェーズ①	台風進路予想発表(台風の発生)	台風接近の5日前 ～ 台風接近の3日前	-120h (5日前) ・気象・海象情報の収集 ・海上安全情報の収集 ・気象情報等の内部共有 ・波浪推算情報の収集 (随時、上記行動を実施)	体制の構築・確認 ・災害対応人員の確認	直轄工事の対策準備指示 (仮設物の固縛や建設機械・船舶の退避や暴風対策など) 直轄保有船への対策準備指示 (係船ロープの増設や他港避難など) 監視カメラ、ソナー等の災害時使用資機材の作動確認	港湾管理者等への事前対策準備の注意喚起(台風期前) ※以下の事項等を実施するために必要な資機材、人員等の確保 ・電気系統、システムの止水・防水対策 ・非常用電源設備の稼働確認など電源対策 ・荷役機械等の港湾施設に対する固定措置の実施 ・コンテナや港湾貨物に対する固縛の実施 ・荷役車両の待避 等
	台風説明会(気象台) (警報級の可能性を時系列発表)	台風接近の2日前	-48h (2日前) ・気象・海象情報の収集 ・海上安全情報の収集 ・気象情報等の内部共有 ・波浪推算情報の収集			
フェーズ②	注意報発表(気象台)	台風接近1日前	-24h (1日前) ・気象・海象情報の収集 ・海上安全情報の収集 ・気象情報等の内部共有 ・波浪推算情報の収集 ・浸水規模の想定・確認	災对本部 注意報 情報収集体制確立 (リエゾン準備など) 防災担当職員の待機・参集指示 関係機関の担当職員確認 一般職員への情報周知 (一般職員への交通機関の運休情報の通知等)	直轄工事・直轄保有船の対策状況の確認(巡視等) 直轄工事・直轄保有船の対策完了の確認(巡視等)	水門・陸間等の閉鎖状況確認依頼 港湾管理者等への事前対策実施状況の確認
		台風接近12h前 もしくは 前日12:00 (接近が翌朝未明)	-12h (半日前)			
フェーズ③	警報発表(気象台) 特別警報発表(気象台)	台風接近6h前 もしくは 前日17:00 (接近が翌朝未明)	-6h ・気象・海象情報の収集 ・海上安全情報の収集 ・気象情報等の内部共有			
台風等通過後の対応	警報解除(気象台)	台風接近～高潮発生～台風通過～高潮収束 安全確保確認後	・情報収集 (ポータラジオの情報、Webカメラの活用等) ・被害があった場合の情報収集・情報共有 ・被害状況情報収集 ・被害があった場合の情報収集・情報共有	・対策本部 警戒体制発令 (被害発生があった場合) ・対策本部 非常体制発令 (被害拡大の場合) ・TEC派遣準備 ・協定団体への出動要請 ・TEC派遣 ・リエゾン派遣	・カメラによる監視 ・施設点検調査(目視)	・臨港道路の通行止め状況の確認 ・被害状況の概略調査指示 ・施設点検調査指示

強大な規模の台風の場合は1日程度前倒し



※本行動計画は台風等の接近に際し、大阪湾における標準的な行動計画を列記したものであり、気象状況・発生時刻等により対策や行動は柔軟に対応する必要がある。
気象台の注意報・警報の発表は、必ずしも本表の「時間の目安」のタイミングで発表されるとは限らず、台風の進路や速度など状況により前後する。

大阪湾における「フェーズ別高潮・暴風対応計画」(台風における港湾管理者の対応例)
【段階的な防災行動計画】

フェーズ	行動開始のトリガー (気象台等の情報)	時間の目安	情報収集	体制	防災行動等	ターミナル関係者等への対応	
フェーズ①	・台風進路予想発表(台風の発生)	台風接近の5日前 ～ 台風接近の3日前	-120h (5日前) -96h (4日前) -72h (3日前)	・気象・海象情報の収集 ・海上安全情報の収集 ・気象情報等の内部共有 ・波浪推算情報の収集 (随時、上記行動を実施)		・入出港在港船管理 ・工事受注者への対策準備指示 (仮設物の固縛や建設機械・船舶の退避や暴風対策など) ・保有船への対策準備指示 (係船ロープの増設や他港避難など) ・災害時使用資機材の作動確認	・ターミナル関係者等への事前対策準備の注意喚起(台風期前) ※以下の事項等を実施するために必要な資機材、人員等の確保 ・電気系統、システムの止水・防水対策 ・非常用電源設備の稼働確認など電源対策 ・荷役機械等の港湾施設に対する固定措置の実施 ・コンテナや港湾貨物に対する固縛の実施 ・荷役車両の待避 等
	・台風説明会(気象台) (警報級の可能性を時系列発表)	台風接近の2日前	-48h (2日前)	・気象・海象情報の収集 ・海上安全情報の収集 ・気象情報等の内部共有 ・波浪推算情報の収集	・連絡体制の確保	・工事受注者・保有船への対策実施指示 ・施設点検開始 ・水門・陸閘等の閉鎖準備開始 (交通に影響のないところは閉鎖指令) ・防潮板・土嚢の設置など	・ターミナル関係者への事前対策実施の注意喚起 (必要に応じコンテナ固縛や段落としての指示など) ・堤外地からの避難・水門閉鎖時間の周知
フェーズ②	・注意報発表(気象台)	台風接近1日前	-24h (1日前)	・気象・海象情報の収集 ・海上安全情報の収集 ・気象情報等の内部共有 ・波浪推算情報の収集 ・浸水規模の想定・確認	・関係機関担当職員の確認 ・対策本部の立ち上げ	・ターミナル等の事前対策状況の確認 ・防潮堤等の監視・管理(巡視等) ・水門・陸閘等の閉鎖指令	・堤外地事業者への情報提供 (必要な場合は避難勧告なども) ・委託者への水門・陸閘等の閉鎖指示
		台風接近12h前 もしくは 前日12:00 (接近が翌朝未明)	-12h (半日前)		・工事受注者・保有船の対策完了確認 ・対策・退避完了の確認 ・水門・陸閘等の閉鎖確認	・ターミナル等の対策完了の確認 ・荷役停止状況の確認	
フェーズ③	・警報発表(気象台) ・特別警報発表(気象台)	台風接近6h前 もしくは 前日17:00 (接近が翌朝未明)	-6h	・気象・海象情報の収集 ・海上安全情報の収集 ・気象情報等の内部共有		・防潮堤等の監視・管理(巡視等) ・臨港道路通行止め	
台風等通過後の対応	・警報解除(気象台)	台風接近 ～ 高潮発生 ～ 台風通過 ～ 高潮収束 安全確保確認後		・情報収集 (ポータラジオの情報、Webカメラの活用等) ・被害があった場合の情報提供・関係者の情報共有 ・被害状況情報収集 ・被害があった場合の情報提供・関係者の情報共有		・被害状況の概略調査 (ドローンなどの活用など) ・施設点検調査(目視)	・ターミナル関係者へのヒアリング ・施設点検調査指示 ・ターミナル関係者への被害状況ヒアリング

※ 本行動計画は台風等の接近に際し、大阪湾における標準的な行動計画を列記したものであり、気象状況・発生時刻等により対策や行動は柔軟に対応する必要がある。
気象台の注意報・警報の発表は、必ずしも本表の「時間の目安」のタイミングで発表されるとは限らず、台風の進路や速度など状況により前後する。

○令和3年3月、台風の規模、コース、速度と高潮偏差との関係性から高潮偏差がわかる高潮早見図を表示させる高潮早見図表示システムを構築。(大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会 最終とりまとめに基づく対応)

【高潮早見図表示システム】

【代表地点の高潮早見図】

高潮早見図表示システム

ファイル(F) 表示(V) 編集(E) 実行(R) オプション(O) ヘルプ(H)

マウス位置座標
10進 N036.8871539, E136.8302927

代表地点一覧
地点数: 25 全て選択 全て解除

県名	出力	地点名
1 兵庫県	<input type="checkbox"/>	姫路(検潮所)
2 兵庫県	<input checked="" type="checkbox"/>	洲本(検潮所)
3 兵庫県	<input type="checkbox"/>	神戸港
4 兵庫県	<input checked="" type="checkbox"/>	神戸(検潮所)
5 兵庫県	<input type="checkbox"/>	神戸空港
6 兵庫県	<input type="checkbox"/>	ポートアイランド

設定出力
各コース台風パラメータ 出力 未実行

図化出力
潮位基準 D.L. T.P.
高潮偏差・天文潮DB 出力 未実行

大阪湾全体の
高潮早見図の図化

代表点の
高潮早見図の図化

潮位一覧表の図化

時系列天文潮位の
図化

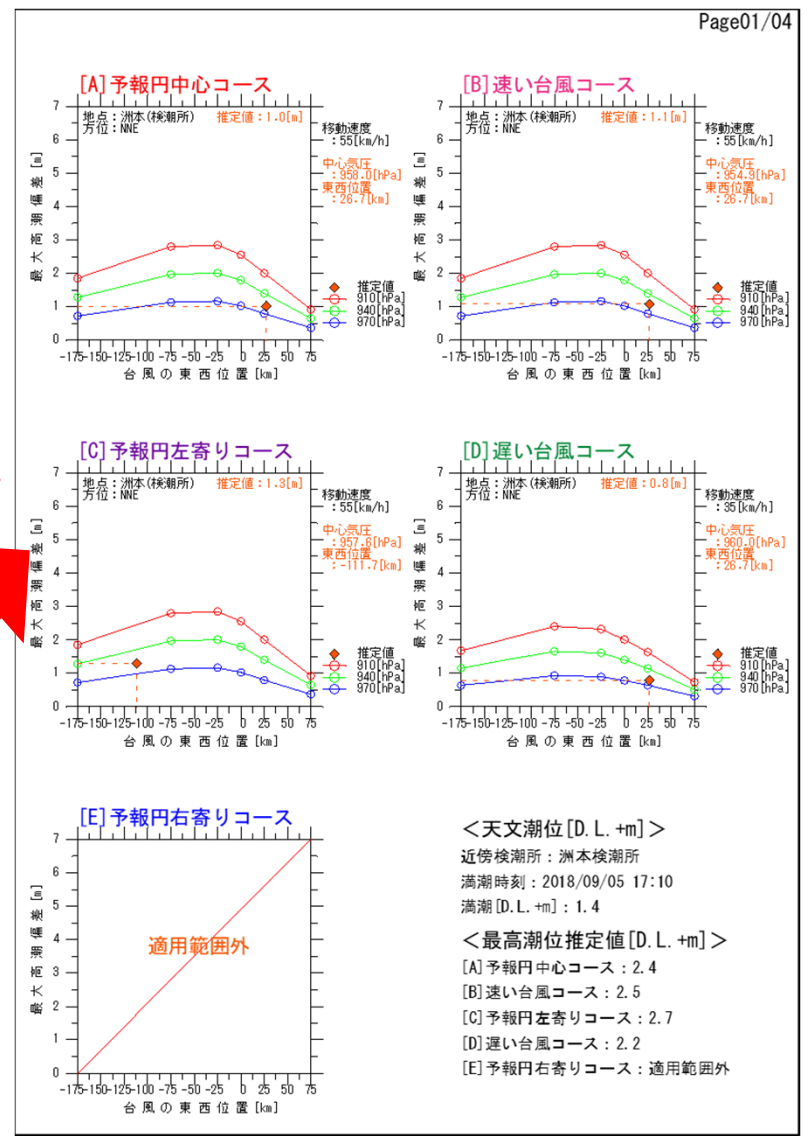
台風諸元の入力

入力データ(1) 始点
日時 2018年 9月 4日 3時
緯度(10進数) 30.167° マウス位置を設定
経度(10進数) 132.833° 手動入力設定(始点)
中心気圧 945.000 hPa
 現在位置 予報位置 予報円の半径 70 km

入力データ(2) 終点
日時 2018年 9月 4日 15時
緯度(10進数) 34.917° マウス位置を設定
経度(10進数) 135.417° 手動入力設定(終点)
中心気圧 960.000 hPa
予報円の半径 150 km

プロジェクト名[T1821-02 (D:高潮早見図)]

高潮早見図の図化



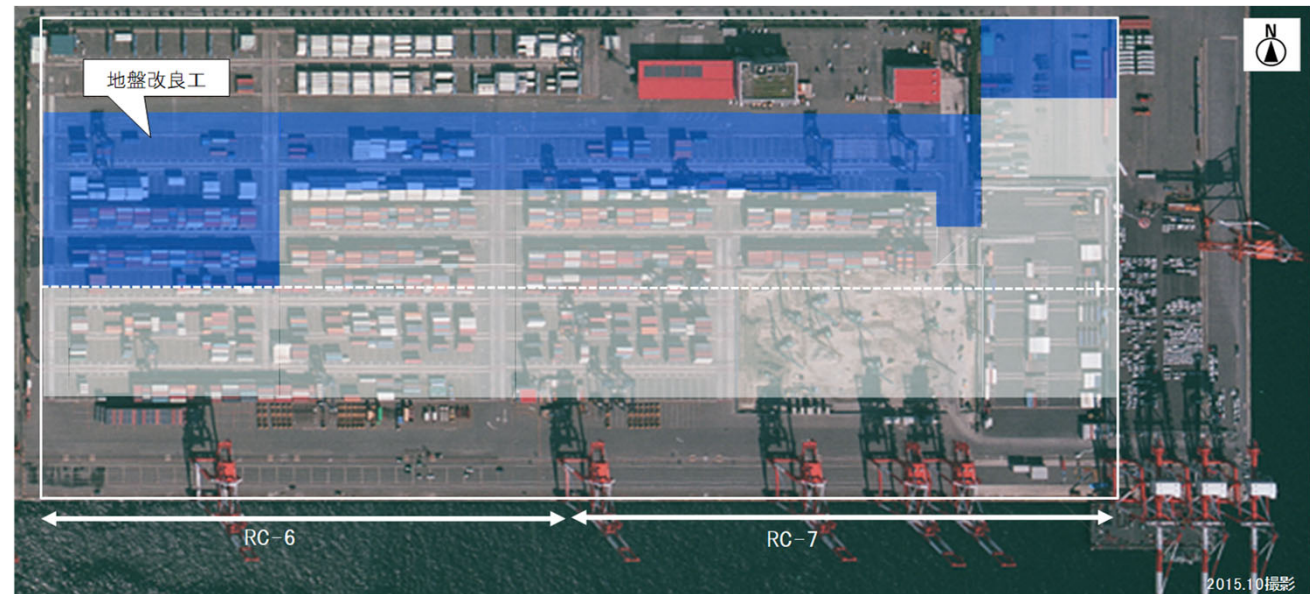
気象庁HPの台風諸元を入力
(時刻、台風位置、中心気圧、予報円)

※高潮早見図表示システム(対象エリア:大阪湾港湾等)では、以下の4項目の図化出力が可能。
「大阪湾全体の高潮早見図」
「代表地点の高潮早見図」
「潮位一覧表」
「時系列天文潮位」

- ・地盤改良工事に伴う地盤嵩上げにより高潮浸水対策は完了。
- ・令和4年度以降も引き続き、背後荷さばき地の地盤改良工を実施予定。

位置図

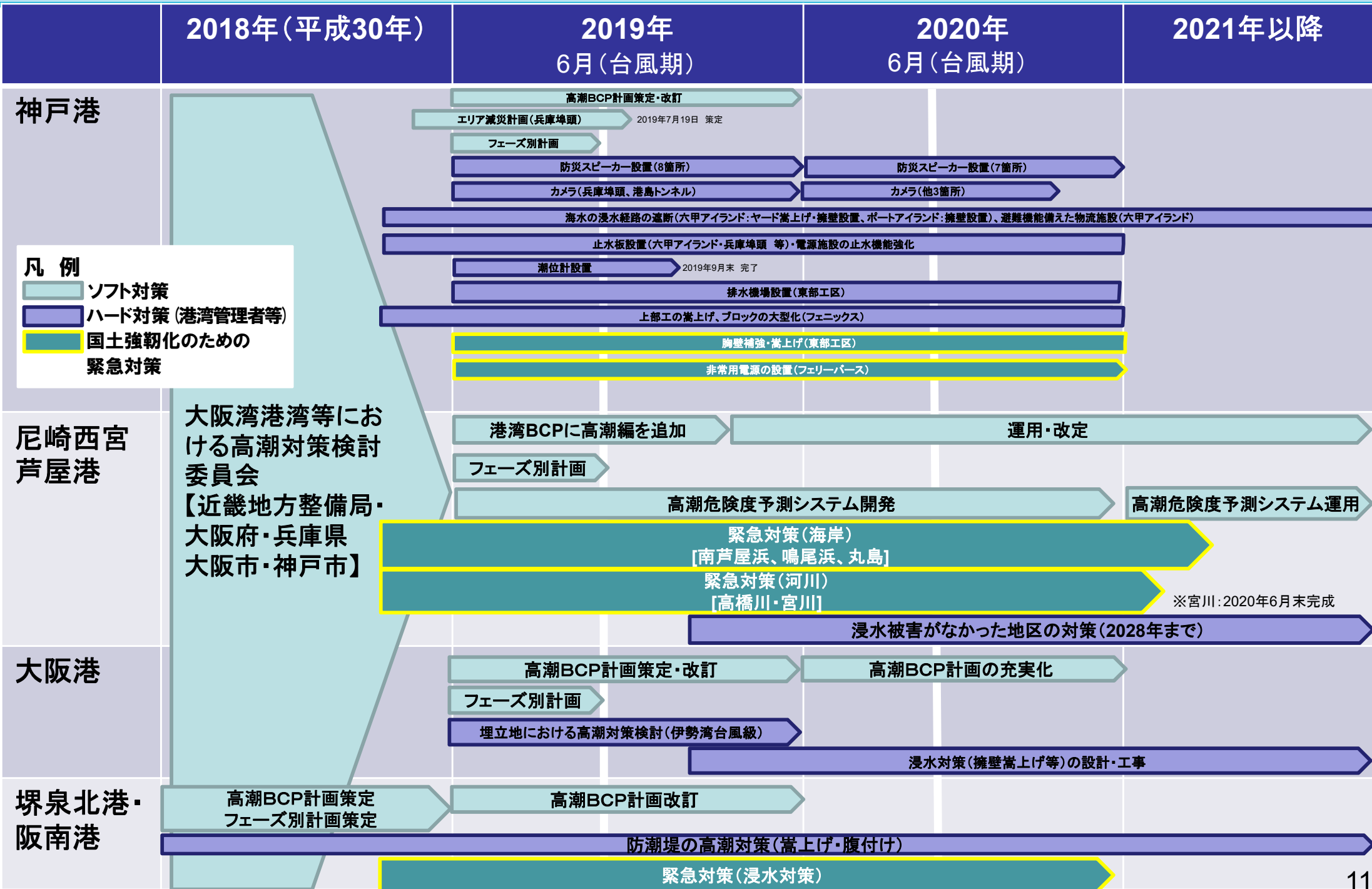
平面図



凡例

- 地盤改良工事完了箇所
- 令和4年度以降実施箇所

港湾管理者毎のとりくみ



堺泉北港(高潮対策関連事業)対策進捗状況

施工場所(位置図)



対策方針(状況)

堺泉北港における高潮対策関連事業

◎【海岸】防潮堤の高潮対策

- ・堺地区
- ⇒浸水対策として嵩上げ及び腹付け等の対策を実施

◎【港湾】設備の電源浸水対策

- ・助松地区
- ⇒ガントリークレーン・受電施設の浸水対策を実施

事業内容・工程

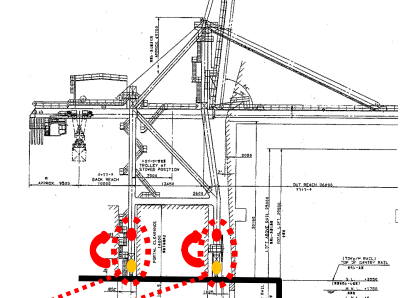
区分	地区名	事業内容	事業期間(予定)			
			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度以降
海岸	堺地区	【防潮堤の高潮対策】 嵩上げ・腹付け等				
港湾	助松地区	【電源浸水対策】 ガントリークレーン・受電施設 : 浸水対策				

○施設整備の目的

外貿コンテナターミナルである助松第8号岸壁の電源設備浸水防止対策を実施し、被災時の機能維持を図る



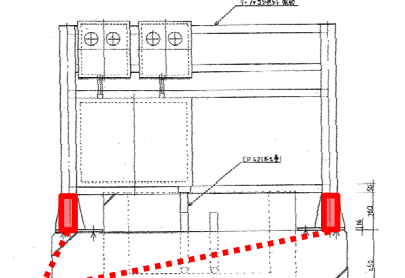
ガントリークレーン 縦断面図



ガントリークレーンの浸水対策
・モーターの上部移設等

陸海

リーファーコンテナ電源 立面図



リーファーコンテナ電源の浸水対策
・電気接続部の防水保護

区分	地区名	事業内容	事業期間(予定)			
			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度以降
港湾	助松地区	【電源浸水対策】 ガントリークレーン・受電施設 :浸水対策	←—————→			

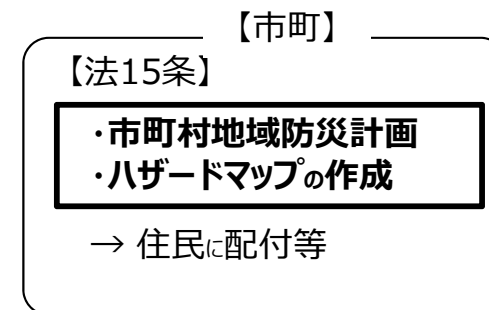
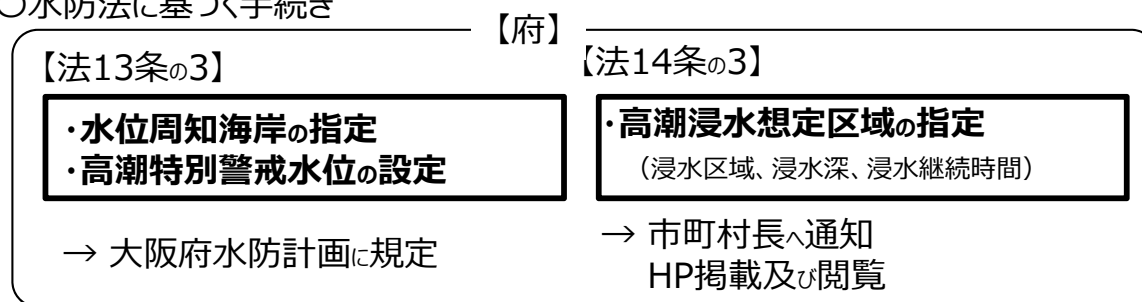
高潮浸水想定区域の公表

■背景

H27.5水防法の一部改正

想定し得る最大規模の高潮による浸水想定区域を公表する制度、及び海岸の水位により浸水被害の危険を周知する制度が創設された。

○水防法に基づく手続き



令和2年 8月

高潮浸水想定区域を公表済み

高潮浸水想定区域を公表後、市町において作成

尼崎西宮芦屋港沿岸 高潮対策進捗状況

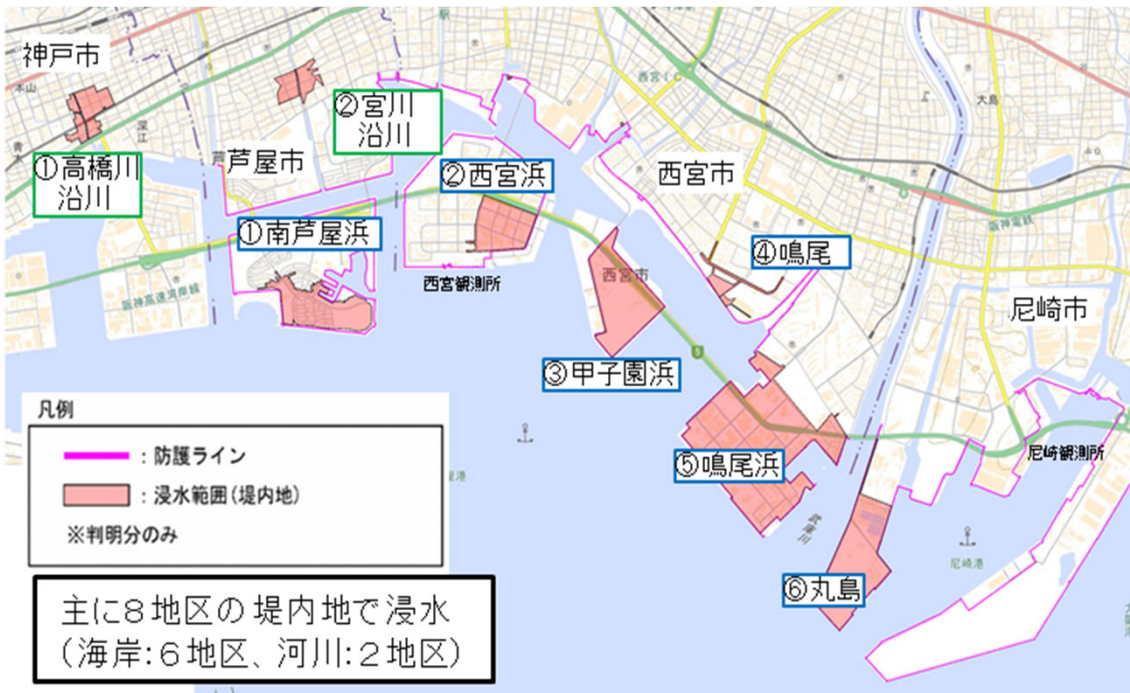
高潮対策の進捗状況

【ハード対策】

- ① 浸水被害のあった地区(8地区)は、2022年度までに再度災害防止対策を完了予定
- ② 緊急対策を含め、高波条件等を見直した上で作成した「兵庫県高潮対策10箇年計画(R1~R10)」に基づき、優先度の高い箇所ですべて計画的に高潮対策に取り組む。

【ソフト対策】

- ① 想定し得る最大規模の高潮浸水想定区域図は2019年度公表済み
- ② フェーズ別高潮・暴風対応計画は、2019年度より試行実施
- ③ 高潮危険度予測システムを運用中



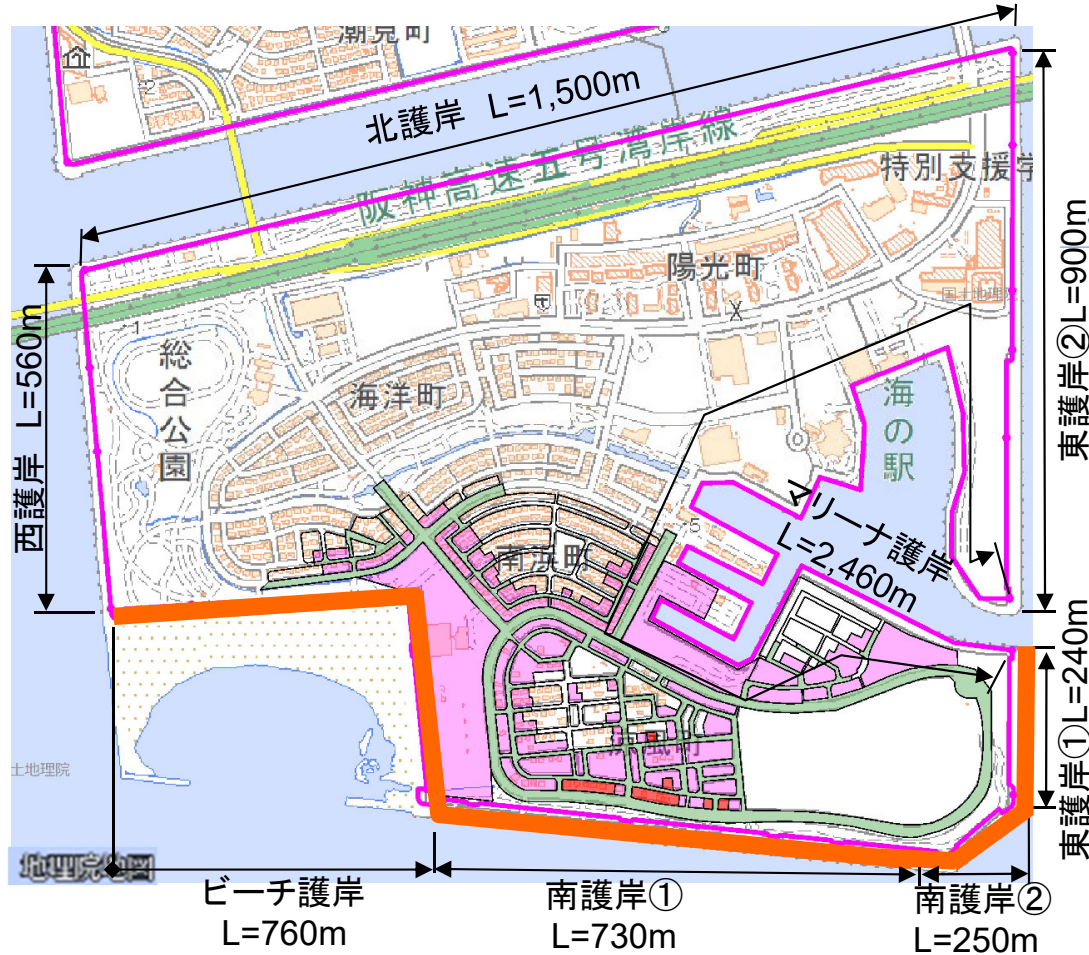
尼崎西宮芦屋港沿岸における堤内地の浸水範囲(約264ha)

対策スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度～
ハード対策 「兵庫県高潮対策10箇年計画」 (R1~R10)	計画策定	浸水被害のあった地区における緊急対策 ※ 南芦屋浜南側の護岸は完成 宮川の堤防嵩上げ等は完成、高橋川の堤防嵩上げ、逆流防止ゲートは完成 全県下の優先度の高い箇所を対象	※ 2021年度 高羽川完了予定	※ 2022年度 枝川町、芦屋浜着手
	高潮危険度予測システムの開発			運用
ソフト対策	大阪湾沿岸高潮浸水想定区域図の公表			
	尼崎西宮芦屋港フェーズ別高潮・暴風対応計画の作成		大阪湾沿岸での取組みを踏まえ、他の海岸・港湾においても実施	

今年度実施する対策内容(南芦屋浜地区)

平面図

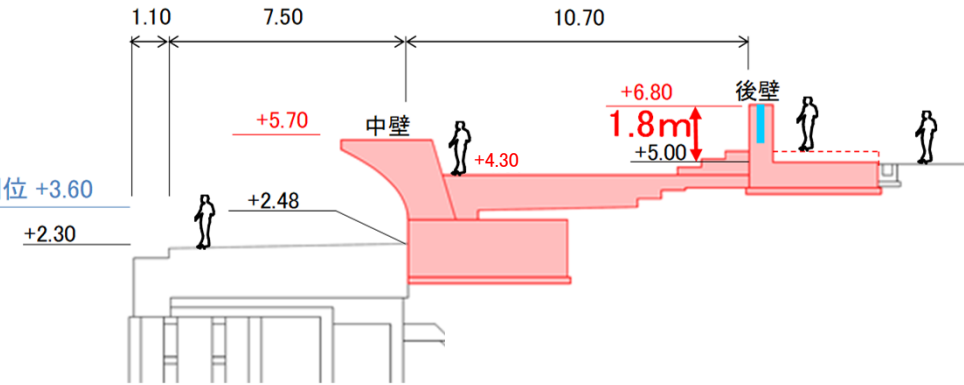


浸水範囲	約27ha
浸水深	20cm~67cm (痕跡値)

実施内容

- ・堤防嵩上げ
- ビーチ護岸L=760m【R3.3月完成】
- 南護岸① L=730m【R3.3月完成】
- 南護岸② L=250m【R3.8月完成】
- 東護岸① L=240m【R3.8月完成】

南護岸の横断図

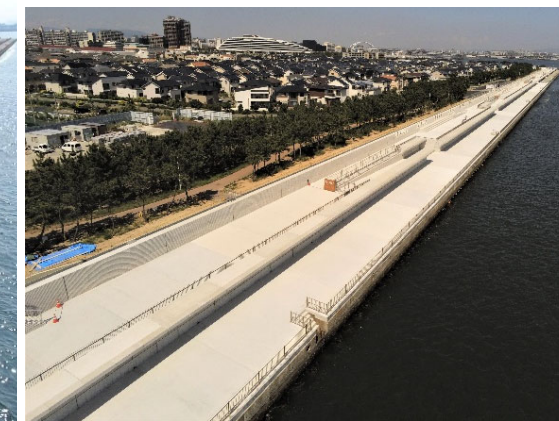


整備状況

施工前



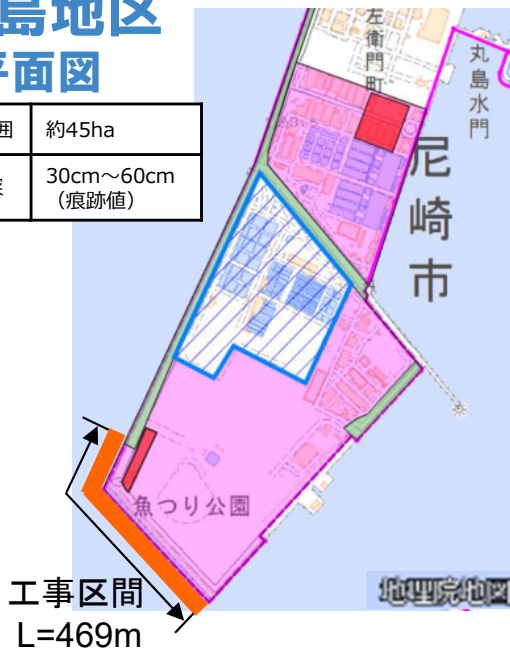
施工後



今年度実施する対策内容(丸島地区等)

丸島地区 平面図

浸水範囲	約45ha
浸水深	30cm~60cm (痕跡値)



鳴尾浜地区 平面図

浸水範囲	約104ha
浸水深	12cm~78cm (痕跡値)

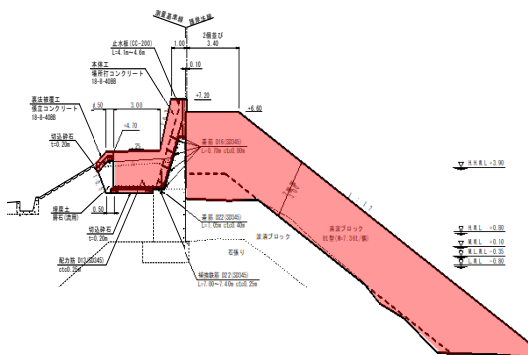


鳴尾地区 平面図

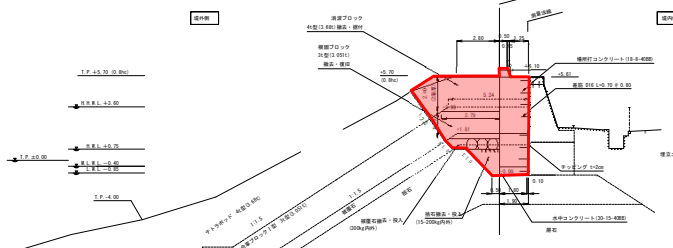
浸水範囲	約6ha
浸水深	15cm~50cm (痕跡値)



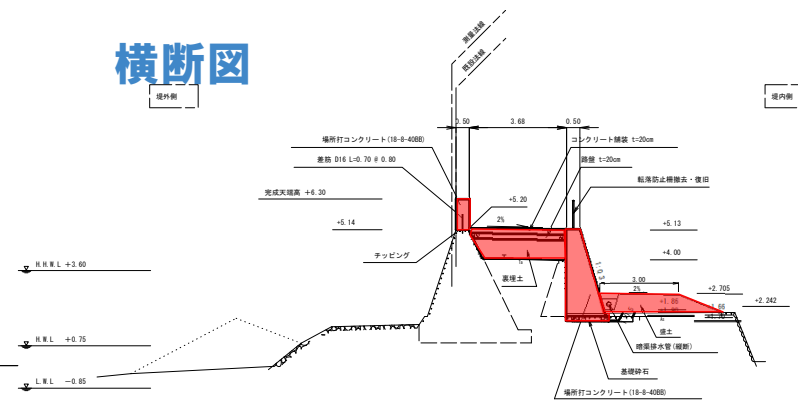
横断図



横断図



横断図



今年度の実施内容

- ・護岸嵩上げ【R3.7月完成】
〔南側護岸等L=469m〕

今年度の実施内容

- ・護岸嵩上げ【R3.7月完成】
〔南側護岸 L=369m〕

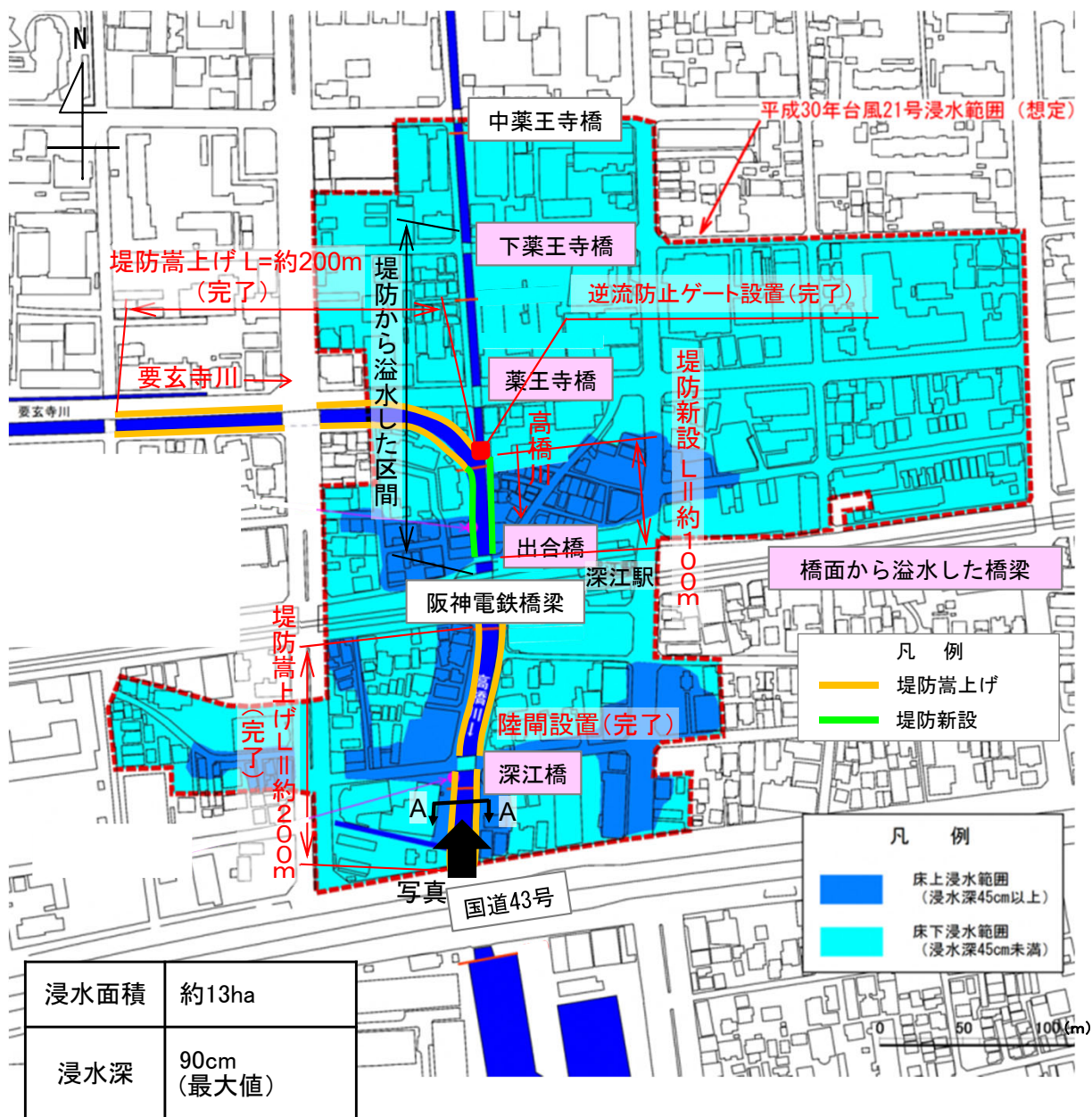
今年度の実施内容

- ・護岸嵩上げ【R4.3月完成予定】
〔南側護岸等 L=900m〕

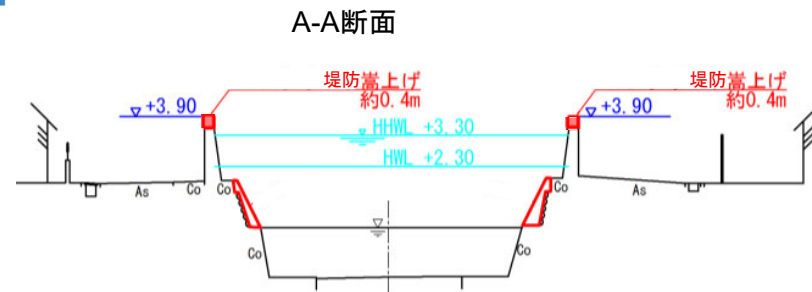
※その他、西宮浜地区で対策完了、甲子園浜地区で対策工事実施中

今年度実施する対策内容(高橋川)

平面図



横断図



整備状況

- ・堤防嵩上げ(L=約400m)【R2.3月完成】

施工前



施工後



今年度の実施内容

- ・逆流防止ゲート設置【R3.7月完成】

ゲート設置後

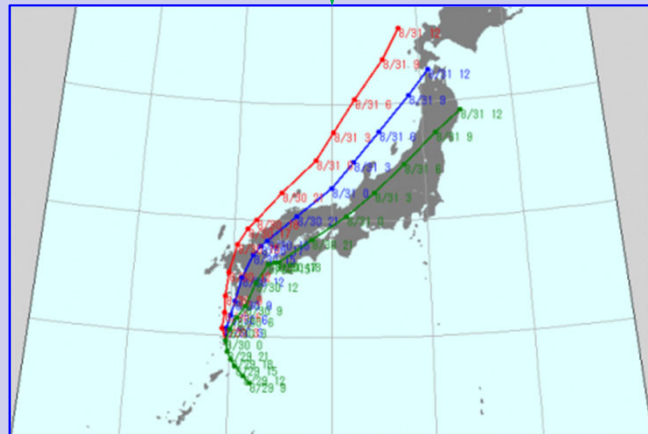
- ・堤防新設【R4.3完成予定】



高潮危険度予測システムのイメージ

(県と沿岸市町が共同で実施)

気象庁からの台風情報
(台風位置、気圧、半径等)



高潮及び波浪推算

気象庁からの台風情報が発表されれば自動計算で出力

県管理の防潮堤高さのデータ等をもとに、越流・越波の発生の可能性を予測

計算結果(予測値)の出力

➤ 最大潮位、最大波高、越波量、危険度

県の水防活動や沿岸市町の防災対応等に活用

大阪港BCP(高潮・暴風編)策定状況

令和元年 6月18日 第6回大阪港BCP協議会

大阪港BCP高潮・暴風編(案)の作成

台風時期に大阪港BCP高潮・暴風編(案)を試行し、課題等を抽出

令和元年 11月 高潮・暴風編の課題等についてアンケートを実施、集約

令和2年 2月 12日 第7回大阪港BCP協議会

大阪港BCP高潮・暴風編(案)の策定
(フェーズ別高潮・暴風対応計画含む)

令和3年 2月 10日 第8回大阪港BCP協議会

港湾BCPの充実化を踏まえた大阪港BCP高潮・暴風編の策定
(機能回復の対象に内貿ユニットロードターミナル・クルーズターミナルを追加)

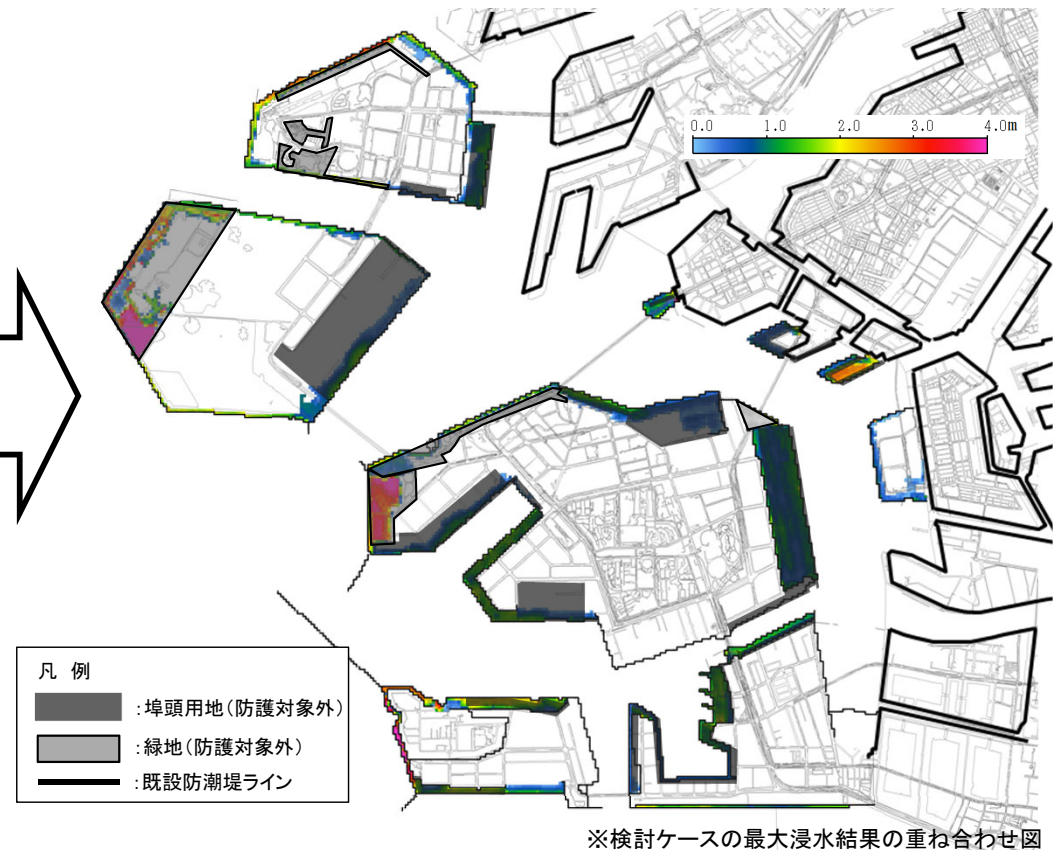
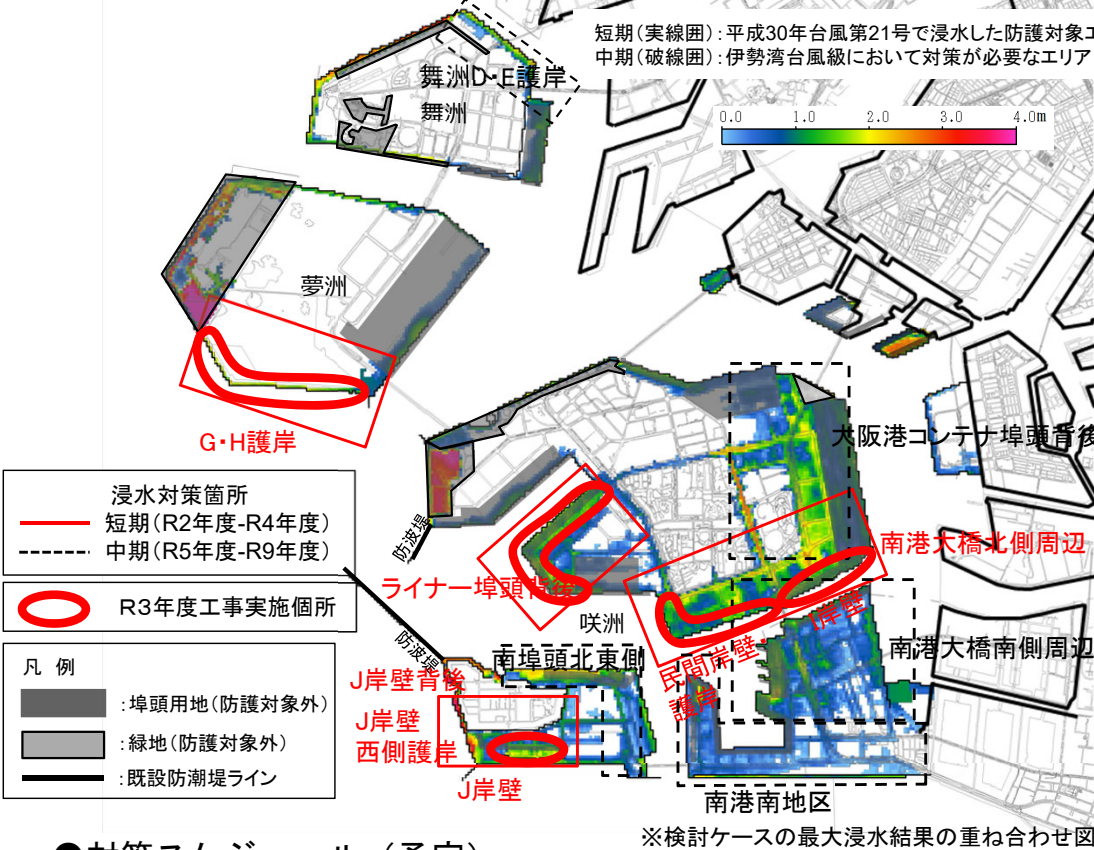
令和4年 2月 10日 第10回大阪港BCP協議会(予定)

がれきや漂流物、コンテナ等の仮置き場候補地の検討
被災コンテナ処理対策の検討

大阪港地区(施設)対策進捗状況

●対策前のシミュレーション結果及び対策箇所

●対策後のシミュレーション結果

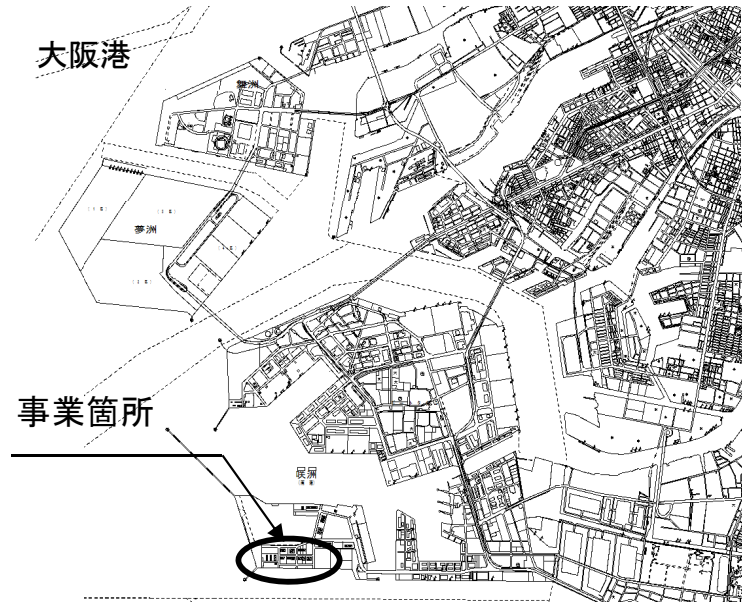


●対策スケジュール(予定)

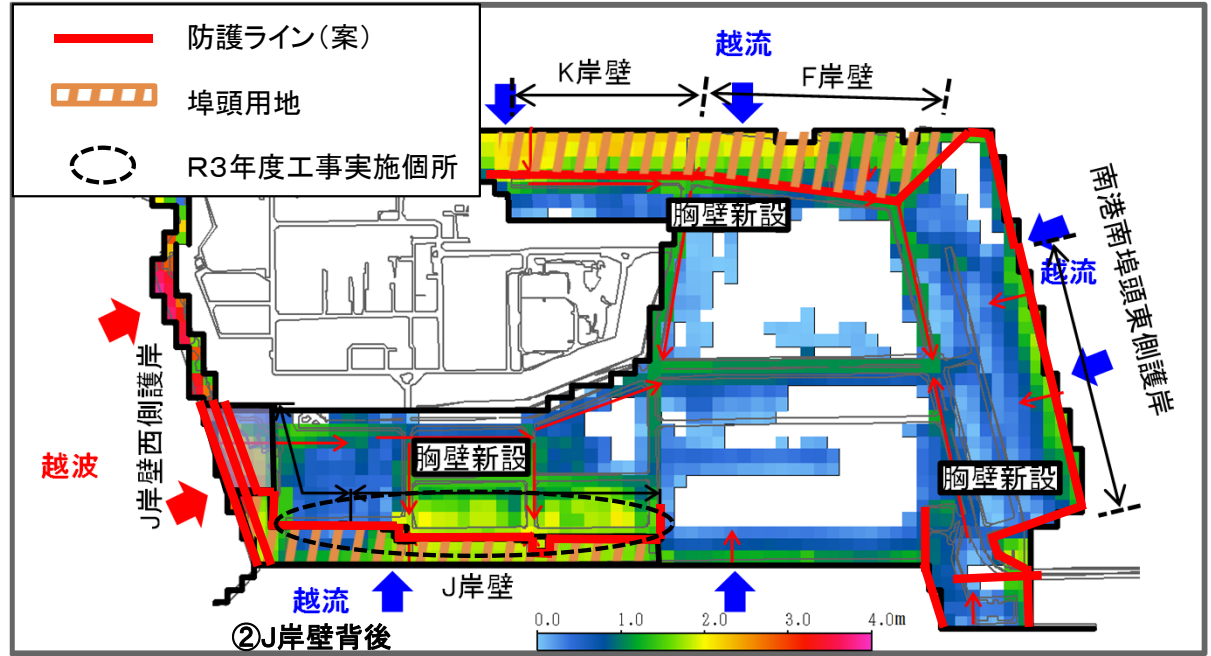
対策箇所		延長	対策案概要	令和3年度実施内容(予定)	対策時期(案)
咲洲	J岸壁	J岸壁	0.9km	胸壁新設・ゲート設置	設計・工事
	背後	J岸壁西側護岸	0.5km	上部工嵩上・胸壁新設等	対策検討
	南港大橋北側周辺	I岸壁	1.0km	胸壁嵩上	設計・工事
		民間岸壁・護岸	1.5km	胸壁新設	設計・工事
夢洲	ライナー埠頭背後	1.4km	胸壁新設・ゲート設置	設計・工事	短期 (令和2年度 ~令和4年度)
	G・H護岸	1.7km	法面被覆・胸壁新設	設計・工事	
咲洲	大阪港コンテナ埠頭背後	2.8km	胸壁新設等	-	中期 (~令和9年度)
	南港南地区	3.5km			
	南港大橋南側周辺	3.0km			
	南埠頭北東側	2.5km			
舞洲	舞洲D・E護岸背後	0.9km			
	合計	19.7km			

大阪港地区(施設)対策進捗状況(J岸壁)

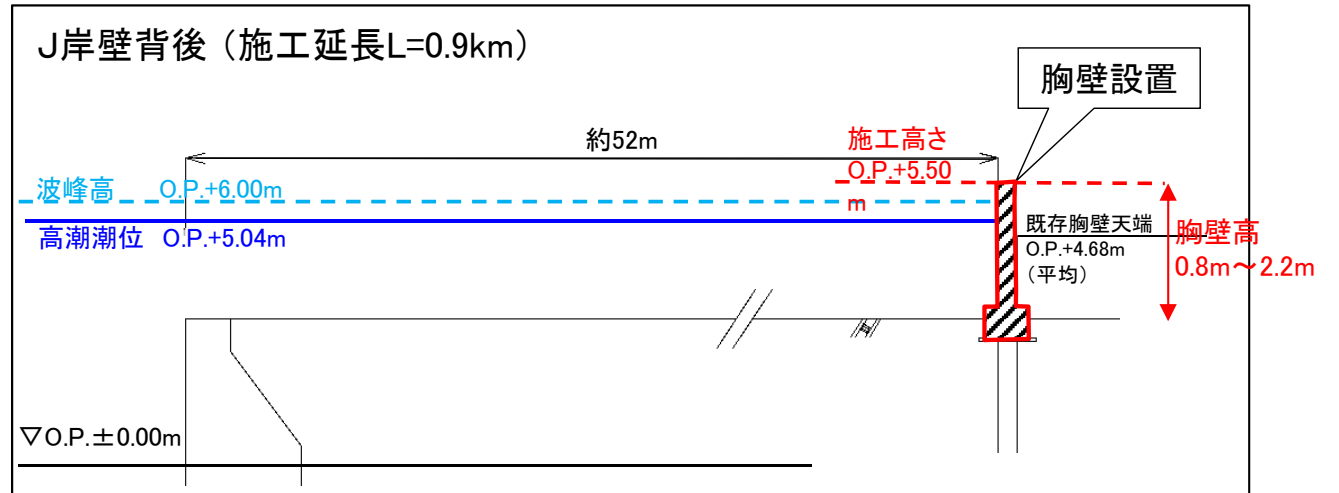
□位置図



□事業概要



□対策イメージ

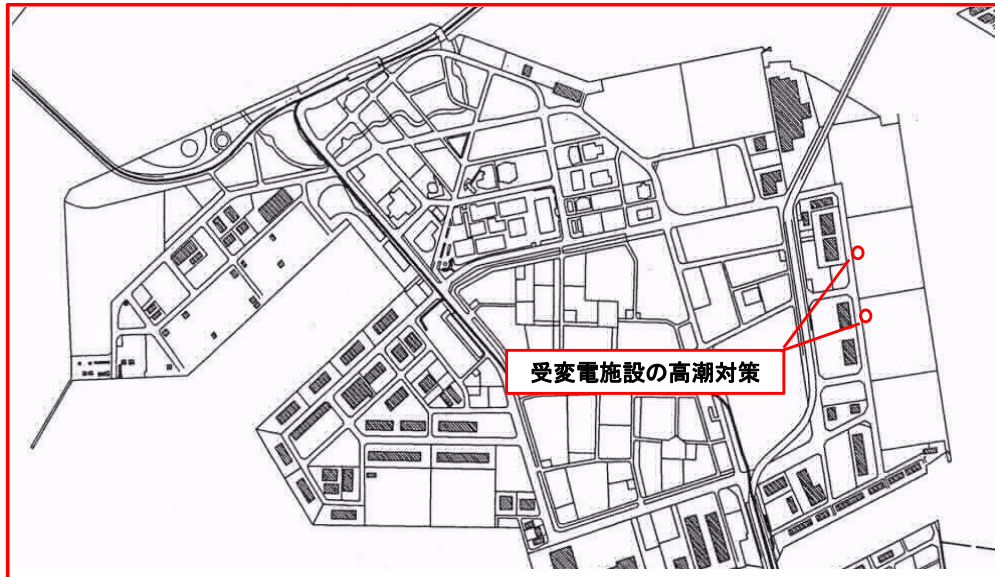


□各種高さ関係一覧(単位:m)

潮位	波高	必要高さ	施工余裕高	施工高さ	胸壁高
OP+5.04	1.92	OP+5.40	0.10	OP+5.50	0.8~2.2

令和2年12月工事着手
令和3年10月一部完成(出入口周辺除く)

施工場所(位置図)



対策方針(状況)

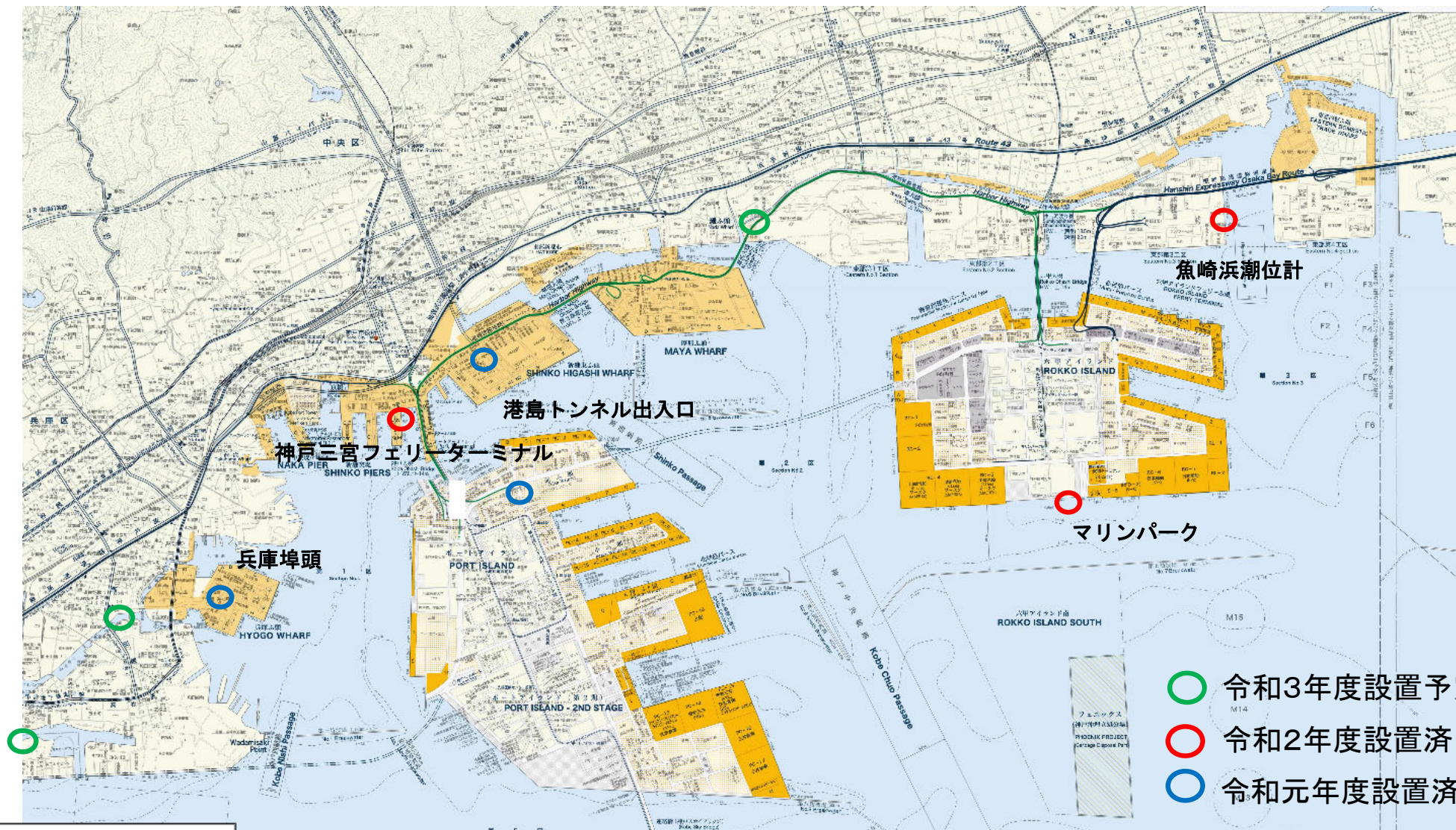
受変電設備の高潮対策

・コンテナ埠頭C2、C3の受変電設備について、大阪港における高潮対策検討会におけるエリア別の防護水準の検討結果をもとに嵩上げの検討を行い、高潮対策を実施する。

工程等

・C2、C3の受変電設備については、大阪港における高潮対策検討会においてエリア別の防護水準の検討が行われた。その結果をもとに、受変電設備高潮対策検討業務において嵩上げ対策等について検討を行った。受変電設備嵩上げについては、令和4年度中にC2、令和5年度中にC3の完了に向けて、工事契約を締結済。

情報共有カメラの設置

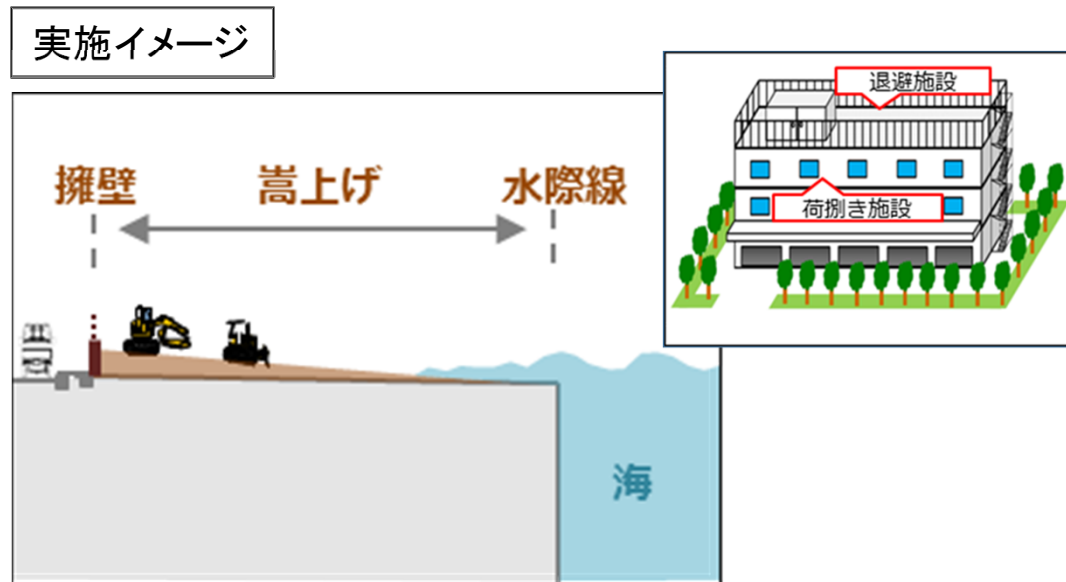
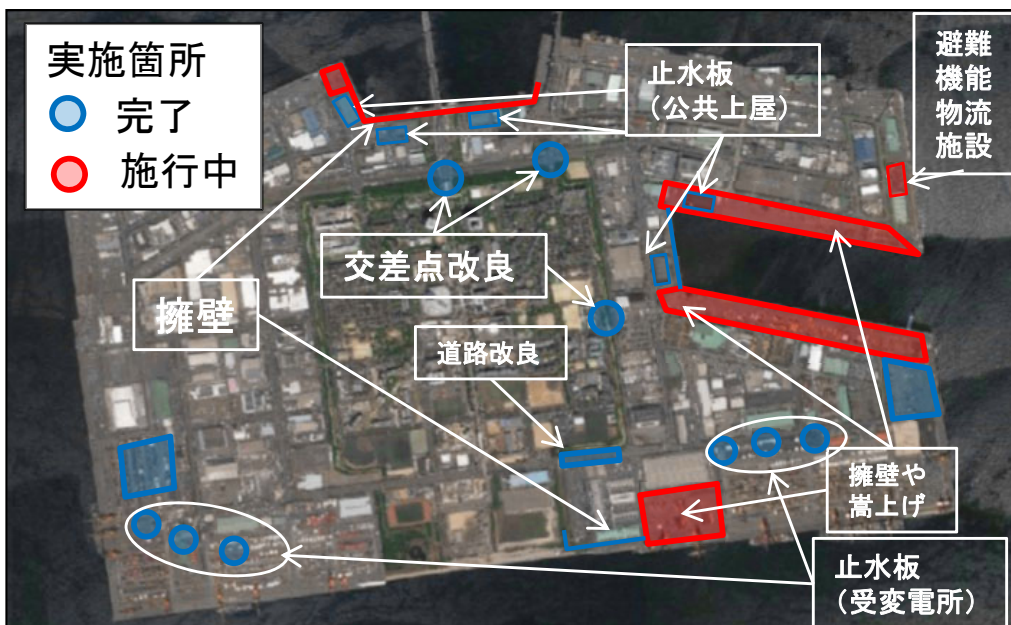


実施スケジュール

工事名(事業名)	令和3年度			
	4月	7月	10月	1月
情報共有カメラの設置	情報共有カメラ製作・設置			

(運用開始後はポータルサイトにて公開)

◆ 高潮による越流によって甚大な浸水被害が発生した六甲アイランドでは、潮位上昇が著しい東側を中心に、港湾機能および都市機能の防護に最も効果的な水際線における地盤嵩上げ、擁壁整備や避難機能を備えた物流施設の整備を行う。



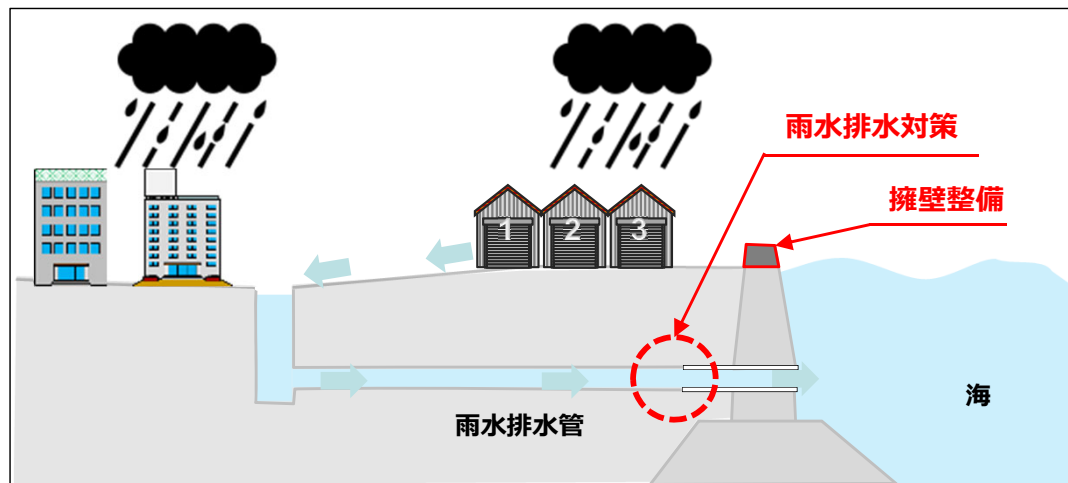
実施スケジュール

工事名(工事箇所)	令和2年度				令和3年度			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
嵩上げ・擁壁設置・避難機能物流施設	工事							
道路交差点改良など	完了							
受変電所止水板設置	完了							
公共上屋止水板設置	完了							

◆ 高潮による越流によって甚大な浸水被害が発生したポートアイランドでは、港湾機能・緊急輸送路および都市機能を防護するために、擁壁設置や雨水排水対策を行う。



実施イメージ

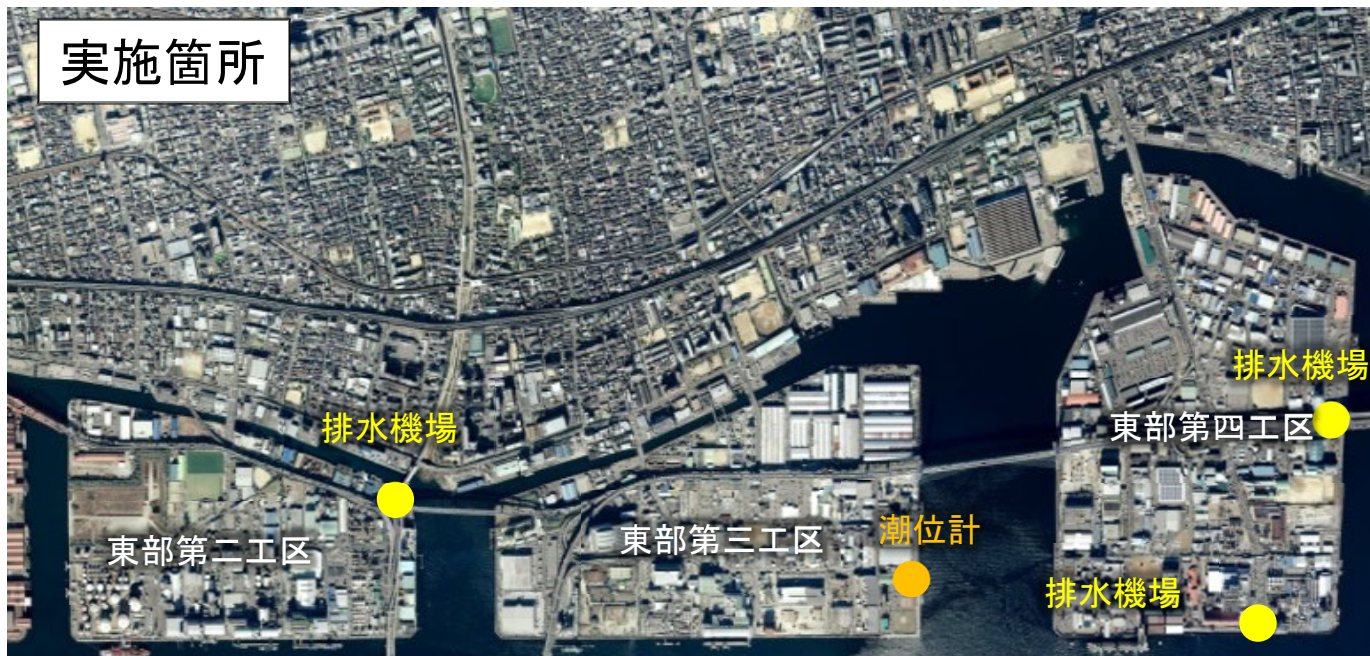


実施スケジュール

工事名	令和2年度				令和3年度			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
嵩上げ、排水施設等	調査・設計・測量							
擁壁設置(先行整備)	完了							
擁壁設置	調査・設計・測量				工事			
受変電所止水板整備	完了					8月末 整備完了		

今年度実施する対策内容(東部工区:排水機場改修・潮位計設置)

◆ 高潮による越流・越波によって堤内側で浸水被害が発生した東部工区地区において、排水機場および潮位計の整備を行い、浸水被害の防止・低減を図る。



実施箇所

実施イメージ

- 排水機場
【東部第四工区】
排水機場:2箇所整備
- 【東部第二工区】
排水機場:1箇所整備
- 潮位計
電波式潮位計を東部第三工区に設置済



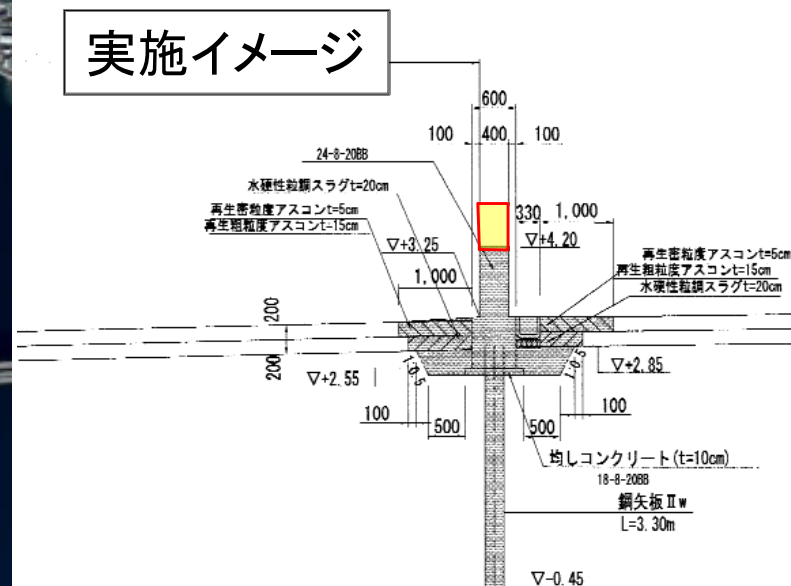
左図: 設置された電波式潮位計

注: 東部第三工区においては、防潮胸壁の嵩上げで対応可能

実施スケジュール

工事名	令和2年度				令和3年度				
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	
東部第二・第四工区 排水機場災害復旧工事	実施設計・製作・工事						8月末 整備完了		
潮位計設置	運用中(ポータルサイトにて公開)								

◆ 南海トラフ巨大地震による津波に備え、東部工区において防潮胸壁・陸間の嵩上げ、増厚を行い、防潮機能の向上を図る。



実施スケジュール

工事名	令和2年度				令和3年度				
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	
東部第3工区津波高潮対策工事	工事						8月末 整備完了		
東部第4工区津波高潮対策工事	工事								

3月末
完了予定